

# 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所の概要について

## National Institute of Special Needs Education



(研究所と三浦半島三崎方面 (神奈川県))

**国立特別支援教育総合研究所**  
(<https://www.nise.go.jp/nc/>)

# 目次

## I 研究所の概要

1. 沿革、役員・職員数、財政規模
2. 組織図

## II 研究所の活動

1. 研究所の使命・目標
2. 使命・目標を踏まえた研究所の活動
  - ①研究活動
  - ②研修事業
  - ③情報普及活動

# 国立特別支援教育総合研究所の位置



三浦半島



研究所周辺

住所:神奈川県横須賀市野比5-1-1  
電話:046-839-6803(代表)

# I 研究所の概要



# 1. 沿革、役員・職員数、財政規模

## 沿革

昭和46年10月	国の所轄機関として国立特殊教育総合研究所設置
平成13年 4月	独立行政法人化（主務大臣：文部科学大臣）
平成19年 4月	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所に名称変更
平成20年 4月	発達障害教育情報センター設置
平成28年 4月	インクルーシブ教育システム推進センター設置
平成29年 4月	発達障害教育推進センター設置（発達障害教育情報センターの機能拡充）
令和3年4月～ 令和8年3月	第5期中期目標期間（令和4年度は第5期中期目標期間の2年目）

### 役員・職員数 R4.4.1時点

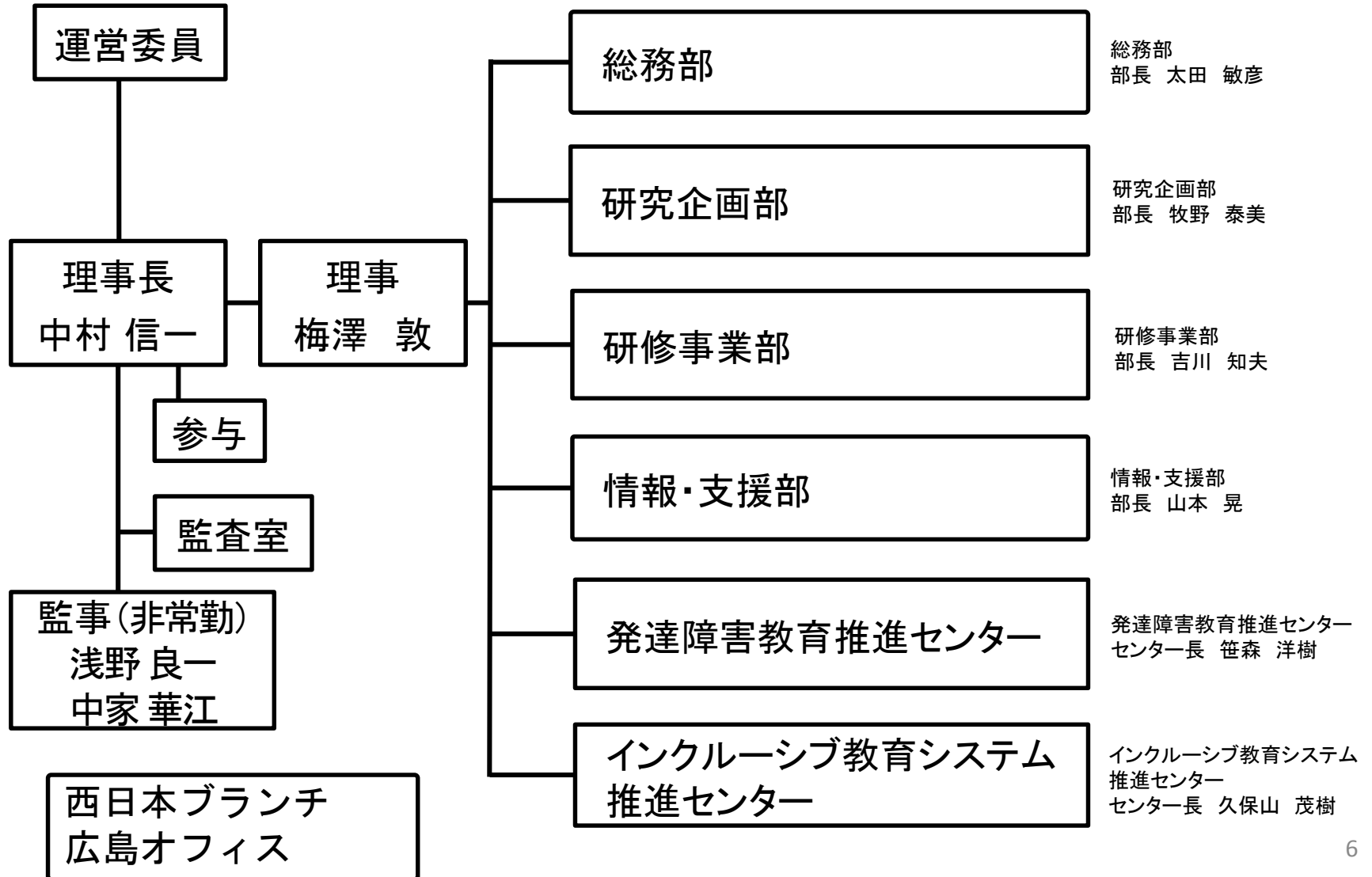
合計	71(2)
役員	2 (2)
研究職	36
一般職	33

### 令和4年度の財政規模

区分	金額(千円)
運営費交付金	1,084,169
施設整備費補助金	79,215

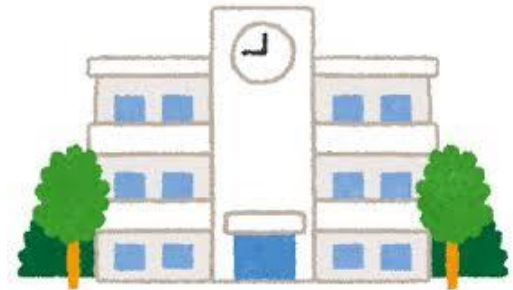
※( )は非常勤で外数

## 2. 組織図



# Ⅱ 研究所の活動

## 1. 研究所の使命・目標



# 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所に係る政策体系図

## 国の政策

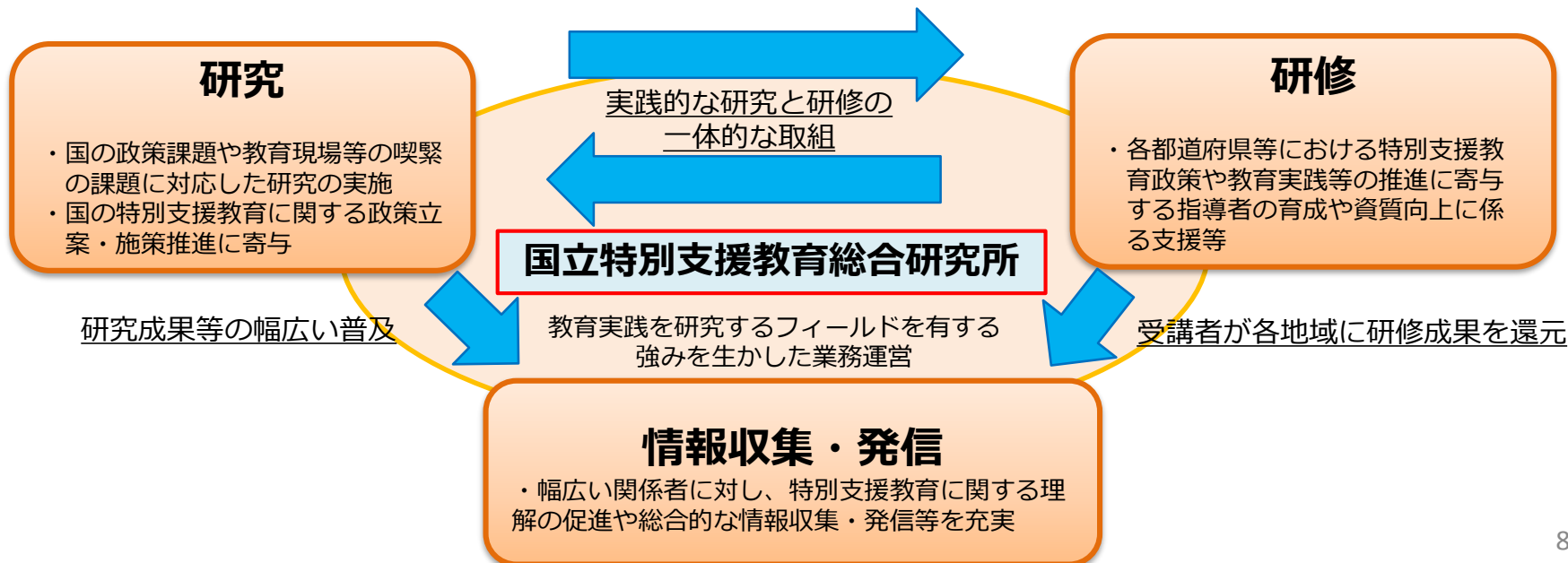
※第5期中期目標（令和3年度～令和7年度）

障害者の権利に関する条約の批准を受け、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育を推進

## 法人の使命

我が国唯一の特別支援教育のナショナルセンターとして、インクルーシブ教育システムの構築に向け、国や地方公共団体、関係機関等と連携・協力しつつ、**教育実践を研究するフィールドを有し、実践的な研究と研修を一体的に行うことができる法人の強みを生かしながら**、特別支援教育を取り巻く国内外の情勢の変化も踏まえた国の政策課題や教育現場の課題に柔軟かつ迅速に対応する業務運営を行い、もって障害のある子供一人一人の教育的ニーズに対応した教育の実現に貢献する。

## 第5期中期目標期間における目標



<久里浜特別支援学校を始めとする様々な特別支援学校等や、特別支援教育以外を専門とする研究機関や関係機関との連携強化>

# Ⅱ 研究所の活動

## 2. 使命・目標を踏まえた研究所の活動

- ① 研究活動
- ② 研修事業
- ③ 情報普及活動



# 第5期中期目標期間（令和3年度～7年度） における研究の方向性

## 基本方針

インクルーシブ教育システムの構築に向けて、障害のある子供一人一人の教育的ニーズに対応した教育の実現に貢献することをミッションとする。

インクルーシブ教育システムの構築、障害のある子供一人一人の教育的ニーズに対応した教育の実現に寄与するため、国、地方公共団体、大学、研究機関、学校等関係機関との連携を強化するとともに、研究所の役割をさらに明確にし、国の政策課題や教育現場の喫緊の課題等に対応した研究活動を実施する。

## 第5期中期目標期間における研究体系

研究区分	研究の性格(研究期間)
重点課題研究	障害種の枠を超えて、国の特別支援教育政策の推進、又は教育現場等の喫緊の課題解決に寄与する研究(2～3年間)。
障害種別特定研究	各障害種における喫緊の課題の解決に寄与する研究(原則2年間)。
その他	<p><b>基礎的研究活動</b>：テーマ別研究班及び障害種別研究班における基盤的な研究。年次基礎調査や、指導の充実等に寄与する調査・分析、それらの結果の普及等の基礎的・継続的な研究活動。</p> <p><b>先端的・先導的研究</b>：将来的な教育政策の検討資料や教育実践の選択肢を提示することを目標に行う研究(1～3年間)。</p> <p><b>国の要請等に応じた研究</b>：国の政策立案等に貢献することを目的とした研究。</p> <p><b>共同研究</b>：本研究所が大学や民間などの研究機関等と共同で行う研究。</p> <p><b>外部資金研究</b>：科学研究費助成金等の外部資金を獲得して行う研究。</p> <p><b>受託研究</b>：外部からの委託を受けて行う研究。</p>

- 各障害種の枠を超えて組織的に取り組む「重点課題研究」を中心に、多様な研究を実施。
- 障害種別研究班及びテーマ別研究班（令和3年度に設置）による基盤的な研究活動の充実。
- 研究を戦略的かつ効果的に推進するため、研究課題に応じて外部の研究協力者や研究協力機関との連携を強化。

## 第5期中期目標期間に取り組む研究活動

### 重点課題研究

<令和3年度より開始している研究> (※ 進路指導チームは令和5年度、その他は令和4年度終了予定)

#### (1) 教育課程に関する研究(国への政策貢献)

- 学習指導要領に基づく教育課程の編成・実施・評価・改善に関する研究  
(教育課程チーム)

#### (2) 切れ目ない支援の充実に関する研究(教育現場等の喫緊の課題に対応)

- 障害のある子どもの就学先決定の手続きに関する研究(就学チーム)
- 高等学校における障害のある生徒の社会への円滑な移行に向けた進路指導と連携の進め方等に関する研究(進路指導チーム)
- ICT等を活用した障害のある児童生徒の指導・支援に関する研究(ICTチーム)
- 通常の学級における多様な教育的ニーズのある児童生徒の教科指導上の配慮に関する研究(教科指導チーム)

### 障害種別特定研究

<令和3年度より開始している研究> (※ 令和4年度終了予定)

- 知的障害教育における授業づくりと学習評価に関する研究(学習評価チーム)

## 重点課題研究及び障害種別特定研究

### 重点課題研究等の成果

#### <学校現場向けの成果物を予定している研究>

- ・ICT
- ・進路指導
- ・教科指導
- ・学習評価

#### <成果物の活用例>

- ・研修会やセミナーでの活用
- ・学校・教職員への提供
- ・研究や施策推進にあたっての参考資料

### 特別研究員の参画

- ・特別研究員(地域連携型)を研究所に派遣し、共に研究を行う都道府県・指定都市を公募。
- ・特別研究員(地域連携型)は、教育委員会、教育センターで特別支援教育に関わる職員や、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教員。
- ・申請のあった教職員を、特別研究員(地域連携型)として受け入れ、申請内容を基に参画する研究課題を決定。派遣元の教育委員会を研究協力機関に指定。
- ・特別研究員(地域連携型)は、指定の研究チームに所属し、研究所の職員と共に研究活動を行う。地域の情報を研究チームに提供するとともに、成果を地域に還元する。
- ・令和4年度の特別研究員(4県より5名が参画)
  - 青森県(ICTチーム)
  - 埼玉県(学習評価チーム)
  - 長野県(学習評価チーム)
  - 静岡県(就学チーム、教科指導チーム)

## 重点課題研究及び障害種別特定研究

### 令和5年度研究課題等

- 新規に令和5年度に開始する重点課題研究及び障害種別特定研究について現在検討中。
- 研究課題決定後に、令和5年度特別研究員(地域連携型)募集要項を発出(10月末～11月頃)。
- 各都道府県・指定都市・中核市教育委員会、特別支援教育センター、教員養成大学、各種学校長会、関係機関等に、研究課題(新規課題及び継続課題)に関するニーズ調査を実施。

※各研究課題において、質問紙調査や訪問調査を企画・実施する折には、ご協力をお願いします。

## 基礎的研究活動

### テーマ別研究

社会的背景等から必要なテーマ別研究班を設置し、関係団体との連携を図りながら基礎的研究活動を行い、その成果を重点課題研究や国の政策立案等に生かしていく。

- ①ICT班 : 特別支援教育におけるICT、教材・教具の活用に関する研究班
- ②キャリア班 : 障害のある児童生徒のキャリア教育及び就労支援に関する研究班
- ③幼児班 : 乳幼児期の特別支援教育に関する研究班
- ④外国人等班 : 外国につながるのある子供の特別支援教育に関する研究班

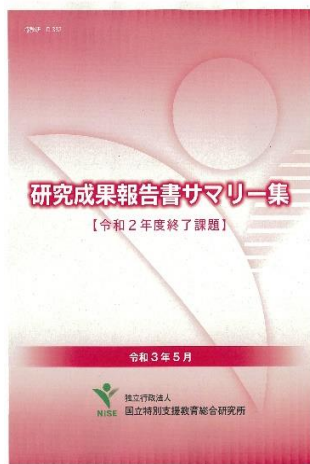
### 障害種別研究

障害種別の研究班においては「障害種別特定研究」のほか、「基礎的研究活動」（各教育分野の指導の充実等に寄与する資料の収集や調査・分析、各教育分野の実態等を定期的に把握・分析することを目的とした年次基礎調査、それらの結果の普及等、当該障害種に係る基礎的・継続的な研究活動）を行うこととする。

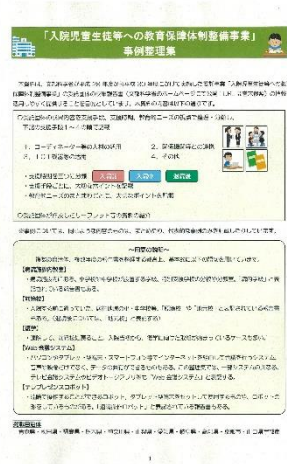
- ①視覚班、②聴覚班、③知的班、④肢体不自由班、⑤病弱班、⑥言語班、⑦自閉症班、⑧発達・情緒班、⑨重複班

# 研究成果の還元

研究成果は、事例集やリーフレット等としてウェブサイトに掲載しており、ダウンロードして活用できます。また、メールマガジンでの発信や研修事業、研究所セミナーでも普及を図っています。



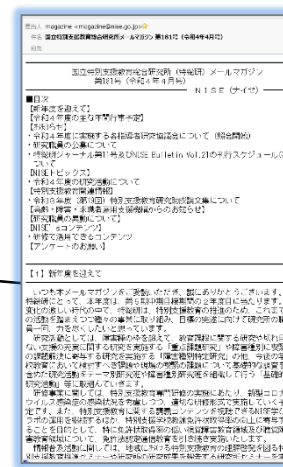
研究成果報告書



事例集



リーフレット



メールマガジン



刊行物(市販)



研修事業(集合型開催時の様子)



研究所セミナー(集合型開催時の様子)

研究成果についてはこちらから御覧いただけます

[https://www.nise.go.jp/nc/report\\_material](https://www.nise.go.jp/nc/report_material)

# 障害種別研究班の最近のリーフレット等



視覚障害教育



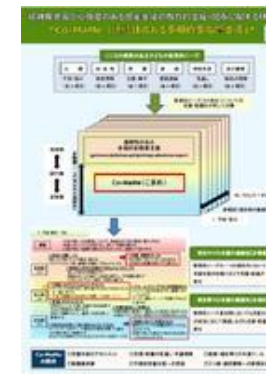
聴覚障害教育



肢体不自由教育



知的障害教育



病弱・身体虚弱教育



自閉症教育



発達障害・  
情緒障害教育



言語障害教育



重複障害教育



インクルーシブ  
教育システム



教育課程に  
関する研究

研究成果についてはこちらから御覧いただけます

[https://www.nise.go.jp/nc/report\\_material/research\\_results\\_publications](https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications)

# 研究成果の普及

先生方が困ったときに、研究所の研究成果物を、簡単にダウンロードして活用いただくために、各種リーフレットや事例集の紹介とダウンロード方法を、わかりやすくまとめたリーフレットを作成し、全国の特別支援教育センター等へ配布して、研修会等で先生方に情報提供していただいています。

**先生の困った!** を**解決**するために

Download

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所  
National Institute of Special Needs Education

**特総研HPで公開中!** 子ども一人一人の教育的ニーズに応じた実践事例があります。

**リーフレットもあります**

研究成果をイラスト入りなどで、わかりやすく、ポイントを紹介しています。研修会などで配っていただくなどの活用ができます。

**ガイドブック・事例集もあります**

主に、教育現場に携わる先生方へむけての手引書で、わかりやすく内容がまとめられています。

**リーフレットを見たい時**

まずは、<https://www.nise.go.jp/nc/>へアクセス!

- 1 画面右上メニューの「報告書・資料」をクリック
- 2 「リーフレット」をクリック
- 3 リーフレットの紹介ページの「中から目的のPDFファイルをダウンロードしてください。」
- 4 ご自宅のPCに保存して授業の参考にしたり、印刷して研修会や保護者の資料に用いたり、ぜひご活用ください。

**研究成果物リスト**

コチラで紹介しているのはほんの一部です。HPで最新の情報をぜひご覧ください。

研究成果物	公開日
研究結果報告書マリーヌ (令和2年度終了版)	令和3年5月
視覚障害者や学習障害者の発達生活等の困難に関する研究 - 特別支援学校(視覚障害)における指導を中心に -	平成31年3月
「インクルーCOMPASS」ガイド	令和3年2月
知的障害特別支援学校の授業づくり「すけっと」が開始します!	令和3年7月
小・中学校における特殊不自由のある児童生徒への指導が支援のための地域資源を活用した授業改善に関する研究	令和3年3月
精神障害及び発達障害のある児童生徒の教育的支援 - 施設入居する研究 - CoAtoMe 施設社会生活実用マニュアル	令和2年1月
国語障害のある中学生の指導、支援の充実のために	令和2年5月
自閉症のある子どもの自立活動の指導について考えよう!	令和2年5月
発達障害のある子供の教育に関わる全ての教員の悩め-もしもして、それ...二つの悩みを生んでいるかも...?	令和3年3月
障がい児の抱えない児童養育施設と児童の発達に向けた研修パッケージ	令和3年3月
視覚と聴覚の両方に障害のある子どもたちの学びと育ちのために - 実践編、保護者編、関係するみなさまへ -	令和3年3月
発達障害のある子供の教育に関する調査報告書	令和3年3月
N I S E 受け箱: インターネットによる質問応答	
インクルーB: インクルーティブ教育システム構築支援実践事例データベース	
特別支援教育実践ポータルサイト: 支援場面等資料に関する活用方法や実践事例	
N I S E チャンネル: YouTubeにて連絡先情報、研修録動画を公開中	
N I S E 研究紹介ページ: 特総研 Web ページにて登録する研究の専門分野等紹介	

NISE トップページはこちら

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所  
National Institute of Special Needs Education  
研究出版部 令和4年3月発行

研究所ホームページトップ画面から、直接、研究成果物のページへアクセスできるように、トップページに**バナー**や**アイコン**を設置しました。

**先生の困った!** を**解決**するために  
研究成果物のダウンロード方法

特総研より

リーフレット (研究成果・刊行物)

ガイドブック (研究成果・刊行物)



研究成果・刊行物のページはこちら

# Ⅱ 研究所の活動

## 2. 使命・目標を踏まえた研究所の活動

- ① 研究活動
- ② 研修事業
- ③ 情報普及活動



# 研修事業

## (1) 国の政策課題や教育現場のニーズ等に対応できる指導者の専門性の向上

- ・ 各都道府県等における障害種ごとの教育の中核となる教職員を対象とした専門的・技術的な研修及び各都道府県等における指導的立場にある教職員を対象とした特別支援教育政策上や教育現場等の喫緊の課題等に対応した専門的・技術的な研修を実施する。
- ・ 研修目的に留意しつつ、宿泊及びオンラインを適切に組み合わせ、講義のほか、研究所の研究の成果を踏まえた演習・研究協議、フィールドワーク等の形式を多く取り入れるなど工夫し、学術的な理論に裏打ちされた実践的かつ効果的な研修を実施すること。

## (2) 各都道府県等が実施する教員の資質向上に関わる支援

- ・ 多様な学びの場に対応した講義配信コンテンツの計画的な整備を図り、インターネットにより学校教育関係者等へ配信すること。
- ・ 特別支援学校教諭免許状取得率向上のために免許法認定通信教育及び免許法認定講習を実施するとともに、大学等が開設する講習への協力、受講者が受講しやすくなる環境・方策及び科目・単位の拡充の可能性について検討すること。
- ・ 大学等と連携して、教員養成段階の学生等を対象とした特別支援教育に関する専門的な講習を実施すること。

# NISE 研修体系

教員のキャリアステージ

教員養成大学等

第3ステージ  
広い視野で組織的な運営

第2ステージ  
専門性を高めスクールリーダーとして推進力を発揮

第1ステージ  
実践力を磨き教職の基礎固め

準備段階  
必要最低限の基礎的・基盤的な学修

目的	対象	形態	名称・内容	
指導者の養成	第2ステージ及び第3ステージの教職員	来所若しくはオンライン、又は来所とオンラインを組み合わせる研修	特別支援教育専門研修	障害種別のコース・プログラムで実施 (視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱、知的障害、発達障害・情緒障害、言語障害)
			インクルーシブ教育システムの充実に関する指導者研究協議会・セミナー	特別支援教育施策上や教育現場等の喫緊の課題について実施 ・特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者研究協議会 ・高等学校における通級による指導に関わる指導者研究協議会 ・交流及び共同学習推進指導者研究協議会 ・発達障害教育実践セミナー
			連携研修	・特別支援学校寄宿舎指導実践協議会 (全国特別支援学校長会と連携)
			その他の研修	・難聴児の切れ目ない支援体制構築研究協議会
資質向上のための支援	第1ステージから第3ステージの教職員	インターネットを活用した研修	講義配信	特別支援教育に関する基礎知識、各障害種の概論、指導方法等に関する講義を配信 ・個人研修支援(スタディー・ログの充実) ・研修プログラムの提供 ・団体登録による自治体や学校の研修を支援 (プログラムの作成、視聴証明書の発行等) ・小・中学校等の教員支援の強化

➤ **スクールリーダー**: 中核的中堅教員として、将来管理職となる者も含め、学校単位や地域単位の教員組織・集団の中で、中核的・指導的な役割を果たすことが期待される教員

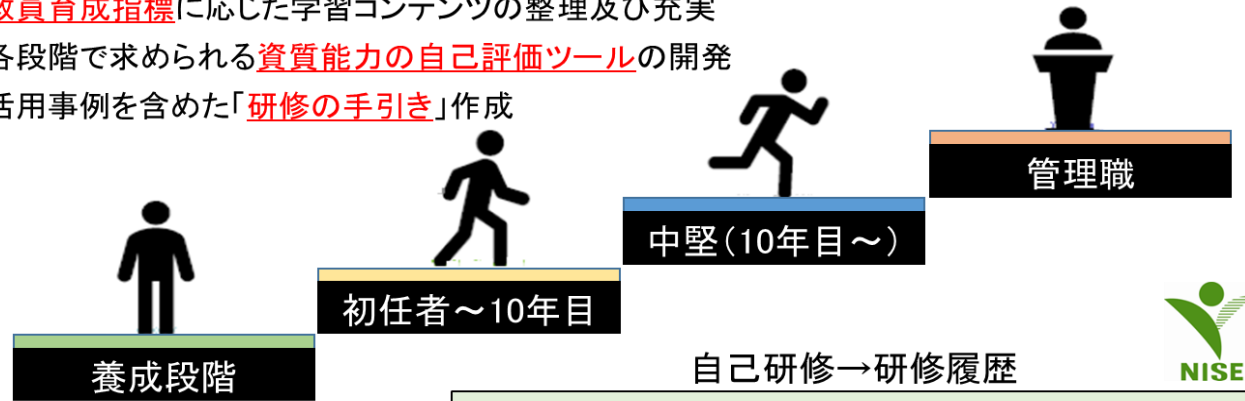


今年度5月に実施した各都道府県・指定都市教育委員会、教育センターを対象とした「講義動画を用いた教職員研修の実施状況に関する調査」ご協力、ありがとうございました。

### 【NISE研修事業】

「特別支援教育を担う教師の養成の在り方等に関する検討会議報告」を踏まえた取組を実施していく。

1. **教員育成指標**に応じた学習コンテンツの整理及び充実
2. 各段階で求められる**資質能力の自己評価ツール**の開発
3. 活用事例を含めた「**研修の手引き**」作成



- ◆ 個人登録
- ◆ 団体登録

**各都道府県教育委員会、教育センター、学校等での活用**

- ◆ 特別支援教育全般コンテンツ
- ◆ 障害種別コンテンツ
- ◆ 職能別コンテンツ
- ◆ 学校種別コンテンツ

#### 各段階でのモデルプログラム

- ・テーマ
- ・目標
- ・コンテンツ
- ・課題(演習・ワーク等)
- ・自己評価(理解度チェックテスト、チェックリスト等)
- ・履修証明書の発行(研修履歴)



インターネットによる講義配信

**NISE 学びラボ**

～ 特別支援教育eラーニング ～

### 令和4年度免許法認定通信教育



- 前期 視覚障害児の心理、生理及び病理  
聴覚障害児の心理、生理及び病理
- 後期 視覚障害児の心理、生理及び病理  
聴覚障害児の心理、生理及び病理

試験：令和4年9月11日(日)

試験：令和5年2月5日(日)

**NISEの研修、ぜひ、ご活用ください！**

# Ⅱ 研究所の活動

## 2. 使命・目標を踏まえた研究所の活動

- ① 研究活動
- ② 研修事業
- ③ 情報普及活動



# 情報発信の充実

## ○ホームページの充実

- ✓トップページにスライダー機能を搭載
- ✓利用者が素早く目的の情報取得できるように、  
カテゴリー別にメニューボタンを配置
- ✓報告書・資料ページに研究成果等の  
更新情報を掲載



# 情報発信の充実

## ○特別支援教育リーフの作成、刊行

幼稚園等、小・中学校、高等学校等で特別支援教育の指導の経験のない又は経験年数の少ない教員に対する特別支援教育の理解啓発・普及を目的としたリーフレットを作成。

特別支援教育リーフ  
シリーズ

初めて特別支援学級や通級による指導を担当する先生へ  
特別支援教育について学ぶ機会がなかなか得られなかった先生へ

まずはここから

こんな子いませんか？

こんな取組、  
してみませんか？

特別支援教育リーフは、小・中学校等で初めて特別支援学級や通級による指導を担当する先生、特別支援教育について学ぶ機会がなかなか得られなかった先生に向けて、障害のある児童生徒がそれぞれの学びの場でより良く学び充実した学校生活を送れるようになるためには、どのように取組んでいくと良いか考えていくためのきっかけとなる内容をまとめ、取組のヒントとなる情報を記載しています。

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 (NISE)  
情報・支援部  
〒239-8585 神奈川県横浜須賀野比5丁目1番1号  
電話：046-839-6803 (代表)

[https://www.nise.go.jp/nc/report\\_material/research\\_results\\_publications/leaf\\_series](https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications/leaf_series)

リーフシリーズ

2022.9

(現在、刊行済み)

Vol.1 「ここからはじめてみよう、特別支援学級」

Vol.2 「障害のある子供も共に楽しむ体育の授業」

Vol.3 「学習や生活を豊かにするICT」

ホームページよりダウンロードできます

[https://www.nise.go.jp/nc/report\\_material/research\\_results\\_publications/leaf\\_series](https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications/leaf_series)

# 情報発信の充実

## ○特別支援教育教材ポータルサイトの充実（現在改良準備中）

特別支援教育教材ポータルサイトの充実等により、幼稚園、小・中・高等学校及び特別支援学校の全ての学校において、ICT機器等の教材を広く普及させるための取組を実施する。

障害のある幼児児童生徒一人ひとりの状態や特性などに応じた支援機器等教材に関する活用方法や取組事例などの情報提供ポータルサイトです。（H27.3～）

<http://kyozai.nise.go.jp/>



「教材・支援機器」と「実践事例」が相互に参照できます。

### 普及活動

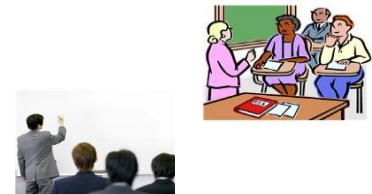
#### 展示会の開催

- ・支援機器等教材の教育現場における活用方法や事例を紹介するための展示会を開催。



#### 研修会の実施

- ・各都道府県の指導者層を対象に支援機器等教材を活用した実践研修を実施



# 教育支援機器教材等の紹介

(一部の機器を会場内で展示しております。)

## ICT活用実践演習室 [あしたの教室]の活用

通常の学級で、障害や困難さがある児童生徒が共に学ぶために、ICT機器を使ってどのような支援ができるかを、授業スタイルで考えるための研修や演習を行う教室です。



(ICT機器を活用した通常の学級の授業を体験)



(あしたの教室を仕切り、病院を想定し、遠隔で授業に参加している状況を体験)

## 教育支援機器等展示室 [ライブラリー]

障害のある子供一人一人の教育的ニーズに応じた支援を実現する様々な教育支援機器やソフトウェアの展示室です。主に、学校で利用可能な市販品を障害種ごとにコーナーを設け、説明パネル等を使って紹介しています。



# 発達障害教育関連情報の充実

## 発達障害教育推進センターWEBサイト



### コンテンツ

発達障害の理解

指導・支援

研修講義動画

発達障害Q&A

当研究所の研究

国の動向や法令

イベント情報

発達障害教育に関する最新情報を国民に幅広く提供し、理解啓発を推進するとともに、発達障害のある子どもの教育に関する基本的な知識と指導・支援に関する情報を発信する「発達障害教育推進センターWEBサイト」を運用しています。

# 発達障害ナビポータル

発達障害のあるご本人やご家族に向けた情報を中心に、その方々の暮らしを支える教育、医療、保健、福祉、労働の各分野の情報を発信する国のサイト「発達障害ナビポータル」を国立障害者リハビリテーションセンター発達障害情報・支援センターと共同で運営しています。



＜共同運営＞国立障害者リハビリテーションセンター  
独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

# イベント紹介

※中止又は開催形態が変更となる可能性があります。

## 研究所公開

日 程 令和4年11月5日(土)

場 所: 国立特別支援教育総合研究所

テーマ: 来てよし 見てよし 特別支援教育の

新しい扉を開く 研究所公開

対面型 要事前申込み(定員200名)

オンライン型

期 間: 令和4年11月5日(土)9:30～令和4年12月11日(日)

事前申込み不要



## 国立特別支援教育総合研究所セミナー

日 程 令和5年3月4日(土)

方 法 対面とオンラインのハイブリッド形式(予定)

場 所 一橋講堂(東京都千代田区)

研究所の活動や研究成果を報告します。



## 特別支援教育推進セミナー

令和4年11月30日(水) 関東甲信越ブロック対象

テーマ: 学校現場における組織的なICT活用の実際

令和4年12月8日(木) 近畿ブロック対象

保護者や関係機関との連携による発達障害のある子供の理解と支援

令和3年12月9日(金) 東海・北陸ブロック対象

地域におけるインクルーシブ教育システムの推進  
ー共生社会の実現に向けてー

# 令和4年度 特別支援教育推進セミナー

## 目的

地域における特別支援教育の理解啓発を図るため、教育委員会、特別支援教育センター、関係団体等及び大学と連携を図りながら、インクルーシブ教育システムの構築・推進に寄与する。

## 開催形式

昨今の教育課題に対応した特別支援教育に関する講義や、実践発表、研究協議を実施。

全国を6ブロック（北海道・東北ブロック、関東甲信越ブロック、東海・北陸ブロック、近畿ブロック、中国・四国ブロック、九州ブロック）に分け、参加者はブロック内の他の自治体や学校の参加者と交流を図ることで、新たな視点や知見を広げる機会とする。

令和4年度は、関東甲信越ブロック、東海・北陸ブロック、近畿ブロックで開催。

## ○関東甲信越ブロック対象

日時

令和4年11月30日（水）11時～17時

テーマ

「学校現場における組織的なICT活用の実際」

## ○近畿ブロック対象

日時

令和4年12月8日（木）13時～17時

テーマ

「保護者や関係機関との連携による発達障害のある子供の理解と支援」

## ○東海・北陸ブロック対象

日時

令和4年12月9日（金）13時～17時

テーマ

「地域におけるインクルーシブ教育システムの推進－共生社会の実現に向けて－」

# 令和4年度 国立特別支援教育総合研究所セミナー

ご案内（一次案内）

日時 令和5年3月4日（土）  
対面・オンラインのハイブリッド開催



特総研モニュメント 「子どもとともに」

参加申込は、令和4年12月初旬頃から受付を予定しております。  
参加については、集合及びオンラインともに事前登録が必要です。  
詳細は二次案内の際にお知らせします。

参加費	無料
募集定員	1,000名（対面200名） 予定

## ◇ 主な内容（予定）

辻村賞受賞式及び記念講演  
文部科学省行政説明  
基調講演  
研究テーマ別分科会  
ポスター発表（対面のみ）

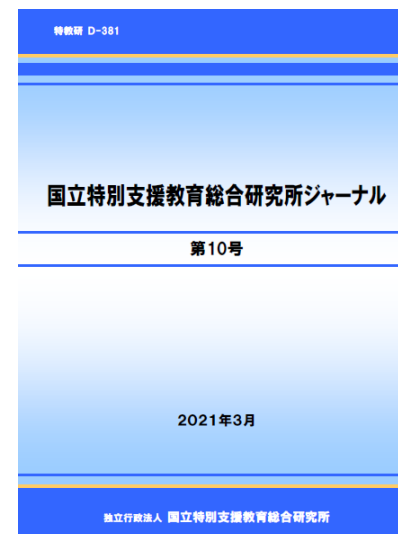
\* 詳細な日程や接続の方法等は随時ホームページでお知らせします。

# 諸外国の最新情報の収集と発信

- ・ 海外のインクルーシブ教育システムに関する情報を収集し、研究所セミナー、ジャーナル等で広く発信しています。
- ・ 海外の研究機関等との交流、研究職員の海外派遣、海外の教育行政担当者や学校教員等の視察・研修の受け入れ等を通じて国際交流を推進しています。

## ○国立特別支援教育総合研究所ジャーナルでの発信

収集した海外の情報を、特総研ジャーナルより情報発信。「各国におけるインクルーシブ教育システムの動向」を紹介しています(ウェブサイトから御覧いただけます。)



ジャーナル第10号  
(令和3年3月発行)

## ○海外の研究機関との研究交流の推進

### 【 研究交流協定締結機関 】

韓国国立特殊教育院(平成7年11月締結,令和元年7月再締結)

ケルン大学人間科学部(平成10年11月締結)

フランス国立特別支援教育高等研究所(平成27年3月締結)

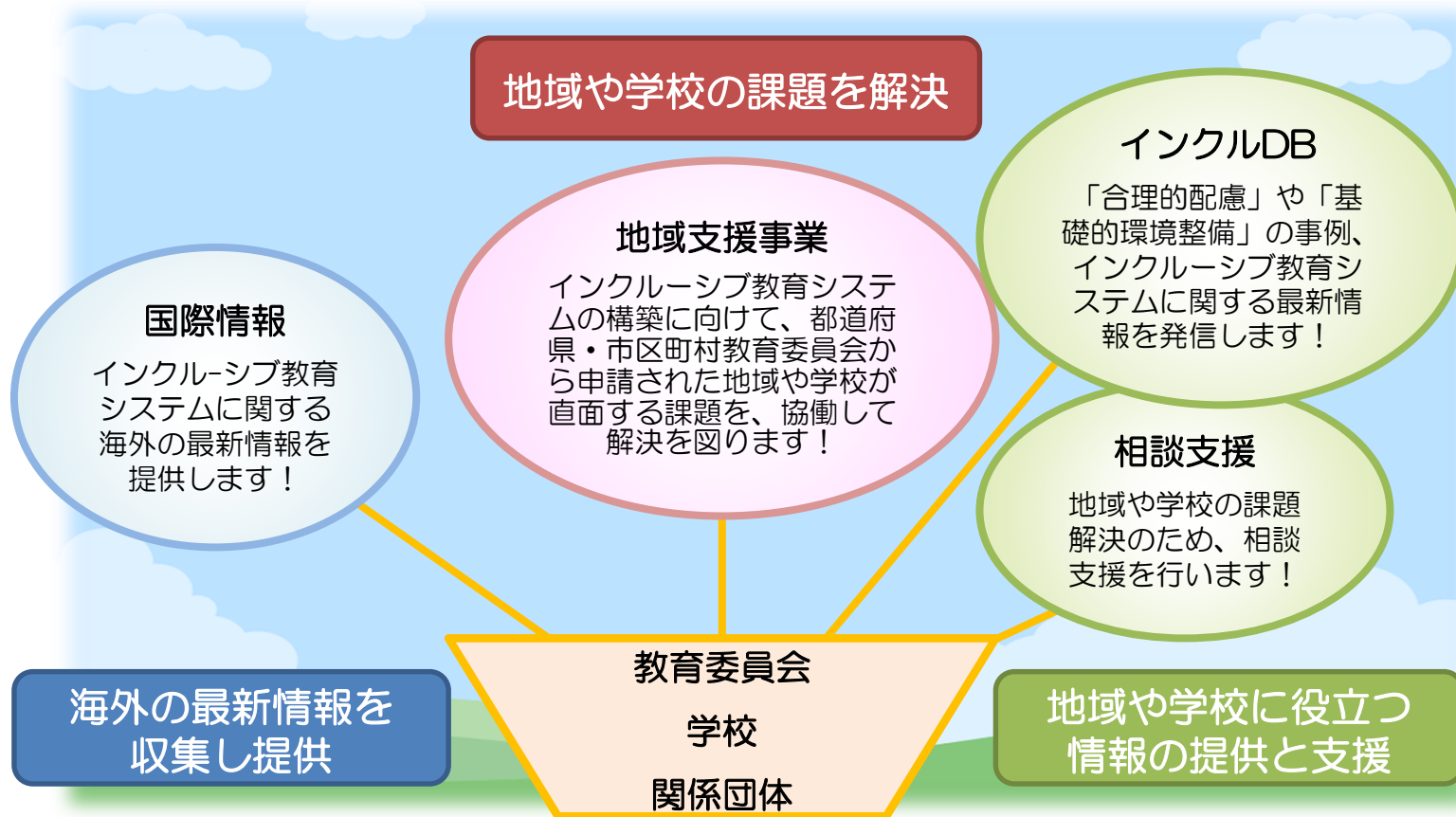
## ○韓国国立特殊教育院との交流

両機関の情報共有と交流を深めるため、特別支援教育協議会(仮称)の開催等を実施。

# インクルーシブ教育システム構築への寄与

～「インクルーシブ教育システム推進センター」の設置（平成28年4月）～

インクルーシブ教育システムの構築を一層推進するため、**地域や学校の取組を強力にバックアップ**していきます。



インクルーシブ教育システム推進センターの詳細は、こちらのウェブサイトからご覧いただけます。

[https://www.nise.go.jp/nc/about\\_nise/inclusive\\_center](https://www.nise.go.jp/nc/about_nise/inclusive_center)

## 教育委員会と研究所が連携して 地域のインクルーシブ教育システム構築を 推進する事業です

### 具体的には・・・

- 研究所と日常的に連携して、インクルーシブ教育システム構築に関する課題の解決に向けた取組を推進します
- これまでの「地域実践研究」の研究成果を活用できます
- 他の地域と情報交換することができます
- 事業の成果を、研究所と協働して地域に普及することができます



### 事業内容の例

- 専門性のある指導体制の確保  
教育委員会主催の研修  
切れ目ない支援体制
- 交流及び共同学習の推進
- インクルーシブ教育システムに関連した理解啓発  
通常の学級担任向けの校内研修プログラム  
障害理解授業  
リーフレット作成

現在、令和5年度の事業に参画する都道府県及び市区町村教育委員会を公募しています（〆切：11月30日（水））。事業申請をお待ちしています。

## 令和4年度参加自治体（13県市町）

- ・札幌市（北海道）
- ・釜石市（岩手県）
- ・鹿沼市（栃木県）
- ・さくら市（栃木県）
- ・下野市（栃木県）
- ・厚木市（神奈川県）
- ・葉山町（神奈川県）
- ・長野県
- ・須坂市（長野県）
- ・飯田市（長野県）
- ・犬山市（愛知県）
- ・箕面市（大阪府）
- ・鹿屋市（鹿児島県）



## 令和4年度の実施計画

- ・4月1日 事業開始 ～ 3月31日 終了
- ・4月28日 事業説明会（オンライン）
- ・8月26日 推進プログラム（研究所及びオンライン）
- ・3月上旬 事業報告会（オンライン）  
各自治体での報告会等



# インクルーシブ教育システム構築支援データベース (インクルDB)

インクルDB（インクルーシブ教育システム構築支援データベース）は、子どもの実態から、どのような基礎的環境整備や合理的配慮が有効かについて、参考となる事例を紹介しています。また、研修会での事例検討にも活用できます。インクルDBは、各学校の先生方だけでなく、保護者の方をはじめ、広く一般の方にもご利用いただくことができます。

交流及び共同学習の事例や関連情報、インクルDBを活用した研修例を掲載しています。教育委員会や教育センター、校内等での研修に是非ご活用ください。

令和4年8月 事例掲載数：590件

Aさんは字を書くのが苦手  
で困っているみたい。なんと  
かしてあげたいわ。



①

そうだ！このあいだの研修会  
で「インクルDB」のお話が  
あったわ。早速調べてみよう。



②

字を書くことに関するたくさん  
の事例があるわ。なるほど、こん  
な合理的配慮もあるのね。



③

保護者の方と支援の内容や方  
法について合意形成します。



④

Aさんは、字が書きやす  
くなったみたい。よかったわ。



⑤

合理的配慮や  
基礎的環境整備の  
に関する情報を  
ダウンロードできます。



# 「インクルDB」説明動画を配信中

YouTubeの NISEChannel で、ご覧いただけます

<https://www.youtube.com/user/NISEchannel>



## インクルDBの紹介と その活用方法

インクルーシブ教育システム推進センター



皆さん、こんにちは。インクルーシブ教育システム構築支援データベース、インクルDBの活用方法について紹介します。検索サイトで、インクルDBと検索するとすぐに出てきますので、早速検索してみてください。



# 日本人学校への相談支援

- ・日本人学校に対して、特別支援教育に関する情報提供を定期的実施。
- ・日本人学校を通じた相談支援。

日本人学校等で勤務される先生方へ

特別支援教育サポート通信



2022年度  
第1号

(発行)  
独立行政法人  
国立特別支援教育総合研究所  
情報・支援部 学校教育支援・連携  
担当 <https://www.nise.go.jp/nc/>



学級の中に困っているお子さんはいませんか？

国立特別支援教育総合研究所（特総研）のウェブサイトをご活用ください！

特総研のウェブサイトでは、特別支援教育に関する様々なコンテンツがご利用いただけます。

アクセスはこちらから▼



URL  
<https://www.nise.go.jp/nc/>

NISE  
「NISE」  
で検索



こんな活用方法もありますよ😊

## ●●● 特総研ウェブサイトの活用例 ●●●

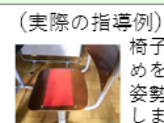
(事例) 発達障害のあるお子さんが在籍する学級の担任をしているA先生。授業中、あまり集中力が続かない児童に、どのように指導したら良いか悩んでいます。

### 活用例① 「インクルDB」で実際の指導事例を検索。指導の参考になる。



インクルDB  
キーワード検索  
集中力 検索  
インクルDBで  
キーワード検索すると  
類似事例を調べられる

(検索結果例)  
B児は**集中力**の持続が  
困難なことから、  
ぼんやりしていること  
が多い。



(実際の指導例)  
椅子に滑り止めを置くと  
姿勢が安定  
します。

早速取り入れてみよう！

### 活用例② 「NISE学びラボ」で特別支援教育について学習できる。



NISE  
学びラボ  
利用申請（無料）すると  
お申し込み  
パスワード  
お申込み

およそ170の講義コンテンツから、受けたい講義をいつでもどこでも受講できます！講義時間は15～30分。パソコンやスマートフォンで手軽に受講可能です！

校内研修で活用しています。

特総研では、在外教育施設の先生方から、障害のあるお子さんへの指導や支援について、メールによる相談をお受けしております。ご希望の際は「wsodan2@nise.go.jp」宛てにお申込みください。なお、お返事までに1週間程度お時間をいただくこととなりますので、ご了解いただけますよう、よろしくお願いいたします。

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 情報・支援部 学校教育支援・連携担当

# メールマガジン、LINEのご案内

## メールマガジン

毎月ご案内。

### 【 主な内容 】

- ・ NISEからのお知らせ
- ・ NISEに関するトピックス記事
- ・ 研究成果、海外情報の紹介
- ・ 特別支援教育関連情報
- ・ NISEダイアリー（理事長によるコラム）



下記のURLやQRコードより登録が可能です。

[https://www.nise.go.jp/nc/about\\_nise/mail\\_mag](https://www.nise.go.jp/nc/about_nise/mail_mag)

## LINE

毎月2～3回ご案内。

### 【 主な内容 】

- ・ NISEからのお知らせ
- ・ HP未掲載のプチ情報



# お知らせ

国立特別支援教育総合研究所に  
関する情報は、

<https://www.nise.go.jp/nc/> にアクセス

または、

nise



で検索！

